

【中学生の部】 最優秀賞

「一人の力が皆の力に」

岡山大学教育学部附属中学校 3年 葛間 文香^{くずま ふみか}

私たちが生まれ、育った地球。星に生命が存在している珍しい星であり、人間はその星で他の動物とは違う、非常に発展した文明を築きました。しかし、皮肉なことにその文明が地球の自然に影響を与え、人間の生命をも脅かしています。

地球温暖化の原因は温室効果ガスの増加によるものです。主な気体は二酸化炭素ですが、メタン、一酸化二窒素、フロンガスも温室効果ガスの仲間です。特にメタンは二酸化炭素に次いで地球温暖化の影響が大きい気体です。主に家畜のげっぷや天然ガスの採掘時に発生しています。そして、一番の原因である二酸化炭素は化石燃料を由来とした排出が多いのですが、それは私達の生活に欠かせないものとなっています。

地球温暖化は人間にどのような影響を与えるのでしょうか。私はアラル海と呼ばれる湖の水が減少している写真を教科書で見ました。これも地球温暖化による気候変動が原因で起こった事だといえます。これは本当に恐ろしいことです。そこにいた生物はほとんどいなくなっているのです。そして湖の干ばつが頻繁に起こる場所は中近東やアフリカといった発展途上国周辺です。湖の水が無くなったことで命を落としてしまった人もいるかもしれません。

また、農業による作物が異常気象により、ダメになったり、育たなくなってしまうこともあるでしょう。日本は食料自給率が低く、大豆や小麦はほとんど輸入に頼っています。しかし、海外での不作が続いた場合、輸入は叶わなくなり、日本は食料不足となると思います。食べ物は私たちの体に必要不可欠であり、摂取しなければ、病気になることもあります。たとえ医学が発展したとしても、食べなければ死んでしまいます。将来的に世界中の人々が飢餓状態になり、伝染病が流行していてもおかしくはありません。

今、私たちの世代によるデモが世界中に波及しています。始まりは一人の少女、グレッタ・トゥーンベリさんです。彼女は学校も行かず、スウェーデン議会の外に座って抗議しました。その後、インスタグラムやツイッターを通して若者たち、国の代表たちの心に訴えかけました。そして国連のスピーチで政府に対する怒りを涙ながらに訴えました。私は、ほんの一人の力が多くの人を動かすことができ、地球温暖化の解決に導くことができることを痛感しました。

国や企業は、地球温暖化を少しでも止めるために、再生可能エネルギーの技術開発、電気自動車やプラスチックや使い捨てを軽減した商品作りを勧めていくべきだと思います。中でも画期的なのは、ビルの屋上の緑化です。今、テレビでも、スーパーマーケットやデパートの屋上も緑化していることが取り上げられています。植物が増えることで、二酸化炭素の量を減らせることは知っているでしょう。植物を山などの高地に植えるだけでなく、ビル街にも植えられるのです。植えるものが

野菜であれば、収穫することができ、ゴーヤなどのツタ植物であれば、夏はエアコンの温度を上げていても涼しい空間が得られます。何よりも、会社のイメージを良くすることが出来るのが企業にとって最大のメリットでしょう。

国や企業だけでなく、私たちにできることもたくさんあります。私の家では、使わない電気製品は、電源を切るということを、家族全員が心がけています。また、ベランダで植物を植えて育てることにチャレンジしていきたいと思っています。他にも、間伐材で作られた木の製品を買う、国産の食材を買うなどの消費者として、何が環境によい製品なのかを考えて買うことが、私たちに求められていると考えています。

今、私たちは地球温暖化を抑えなければならない使命を守っています。それは、地球のためであり、同時に私たちのためでもあります。地球温暖化を止めるためには、国の意識改革、企業の協力が必要です。しかし、それと同時に、私たち一人一人の日常での意識も求められています。人と人が協力し、団体と団体が協力し、企業とも手を組んで、国に働きかけ、国は他国と協力し合って自然を守るために世界が動いていれば、地球温暖化は解決され、未来の子ども達に残せる持続可能な社会、いや地球をつくることができるでしょう。